

■ ことえ

- 一 1 あめ  
 2 で(て)  
 3 つき  
 4 あか(い)

ニ

1 カンガルー

2 ジュース

3 ケチャップ

4 サンドイッチ

三

1 えいじ(くん)

2 (れい)ろくべえの なきごえが きこえたから。

■ 考え方

三 お話をよむ ときには、「だれが、いつ、どこで、どのようなことをしたか。」  
 などがわかる ことばや 文を、お話の中から さがしながら よむ ように  
 します。

とりくんでみよう!

○ つぎの えをみて かんじをかきましょう。

ども



だ な



ことえ

キ  
 乙  
 土  
 レ

■こたえ

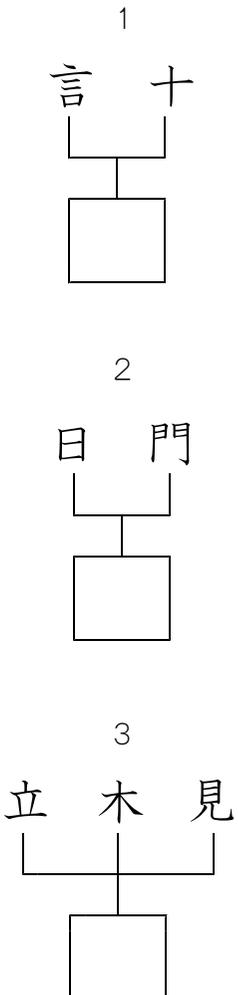
- 一 1 どんぐり
- 2 ウ
- 二 1 (れい)(ぼくは、)パン作り名人の中村さとしさんをしようかい(します。)
- 2 ぼくは、中村さんのパンが大すきです。

■考え方

- 一 1 次のだんらしく書かれているせつめいを読み、文しょうの中心となつてゐることばをさがします。
- 2 「ところが」といふことばをヒントにして、めがでたどんぐりはどれかに氣をつけて読みます。
- 二 1 人をしようかいするときは、しようかいしたい人に「を」をつけ、「〇〇さんをお願いします。」と書きます。
- 2 「名人しようかいカード」のほかの文と同じように、ていねいな書き方に直して書きます。

取り組んでみよう！

■ 次の漢字は、組み合わせるとどのような漢字になりますか。□に漢字をていねいに書きましよう。



こたえ

饅頭 日 樹 立

■ 正答

1

- 一 エ
- 二 2

2

- 一 小さな海草など
- 二 (れい) イトグサは、クロソラスズメダイにとって大切な食べ物だから。

(二十九字)

3

- 一 (れい1) 昼休みにする遊びの中でどんな遊びがすきか。(二十一字)
- (れい2) 昼休みにする遊びの中ですきな遊びは何か。(二十字)
- 二 イ

■ 考え方

2

文章は、中心となる語や文に注意して読むことが大切です。中心となる語や文に注意してまとめたり、小見出しをつけたりするなどして、文章の内容を整理します。また、事実がどこに書かれていて、それに対する意見がどこに書かれているかを考えながら読むことも大切です。

3

文章を書くときには、段落が一つの意味のまとまりになっていることに注意したり、段落どうしのつながりを考えたりして書きましよう。

■正答

1

- 一 3
- 二 太陽（タ日） ※どちらでも正解です。
- 三 （例）（ぼくは、第三連だけ）「そやねん」ではじまっている（から、作者が改めて気付いたことが書いてあると感じたので、「自信をもって、はっきり」と音読したらしいと思う。）（十四字）

2

- 一 組み合わせたものです。（。）（十字）
- 二 2

3

- 一 イ
- 二 エ

■考え方

1

三 田中さんは、改めて気付いた作者の表現の工夫から、読み方を考えています。

こ

この詩では、第二連までとは異なった表現を第三連で使用することで、強調していることに気付くことが大切です。

2

一 文章を記述するときには、相手や目的に応じて、敬体（例 です・ます）と常体（例 だ・である）を使い分けれます。書いた文章に敬体と常体がまざっていないか読み直して確認することが大切です。

3

- 一 「それに」以外にも、「そのうえ」や「さらに」などが入ります。
- 二 「だから」以外にも、「したがって」や「そのため」などが入ります。

## ■ 正答

- 1 ウ 2 イ 3 ア  
4 イ 5 イ 6 ウ

2

一 イ

(例1) 一九九五年

(例2) 一九八〇年から一九九五年

三

(例1) (和菓子をはじめ、日本の文化は、) どんな歴史や文化と関わりがあるか、どんな人がそれを支えているかを考える (ことで受けついでいくことができる。)(三十五字)

(例2)

(和菓子をはじめ、日本の文化は、) 歴史や文化との関わりや、それを支えている人のことを考える (ことで受けついでいくことができる。)(二十八字)

3

一 (例)

(つまり、) 海岸や河原に落ちているごみのほとんどは、生活ごみなので。 (二十九字)

二 ウ

三 (例) グラフや写真を用いている (十二字)

## ■ 考え方

- 1 自分が知っている外来語を書き出し、その言葉が、世界のどの言葉から入ってきたものなのかを辞典で調べる学習に取り組むことが大切です。

- 2 三 要旨とは、筆者が文章で取り上げている内容の中心となる事から。あるいは、それについての筆者の考えの中心となる事からのことです。「〜である」「〜ということもできる。」「〜にちがいない。」など、文末の表現の仕方に着目しながら文章を読むことが大切です。

3

一 問題文に、「【見出し】の言葉を参考にして」とあることから、見出しの言葉を使って、字数に合わせて書きます。

二 見出しを考えるときは、文章(記事)の内容を短くまとめ、伝えたいことが分かるようにすることが大切です。この問題では、写真にアザラシが使われていますが、文章の中に「人間が出した海岸のごみは、野生の生き物にもえいきょうをあたえています。」とあることから、アザラシだけが人間の出したごみのえいきょうを受けているわけではないことが分かります。

三 説得力をもって自分の考えを伝えるためには、根拠や理由を明確に示すことが大切です。そのために、本や文章などから必要な語句や文を引用したり、図表やグラフなどを用いたりして、伝えたいことが伝わるように工夫することが大切です。

■ 正答

1  
一 4

二 1 イ 2 ア 3 エ

三 1 エ 2 ウ

2

一 エ

二 1 放送時間

2 (例) 世の中は昼間活動している人が多く、その日の主なニュースは夕方までに起きることが多いから。(四十四字)

3

一 イ

二 活動日、活動場所 (完全解答)

三 (例) 少しおそかったので、来年の委員会の人たちには、よびかけを早めに行ってほしいです。(四十字)

■ 考え方

2 二 六段落に書かれている夜のニュースの持ちようを見つけます。豊富な内容が入る理由について、「昼間活動している」や「その日の主なニュース」というキーワードを用いて、朝のニュースの理由の書き方と同じように「くから」で終えるようにすることが大切です。

3 三 石川さんの【構想メモ】の「活動のまとめ」の三つ目に注目するとともに、〈条件〉に合わせて書くようにすることが大切です。